

大田区 学びに関する団体アンケート調査

日頃より、区の生涯学習施策の推進について、御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。
大田区では、令和4年3月に「おおた生涯学習推進プラン」策定しました。

現行のプランが令和8年度に終了することから、この度、次期プラン策定のための基礎資料として、アンケート調査を行うこととなりました。

令和7年7月31日時点で大田区に登録されている全ての社会教育関係団体のみなさまへお送りさせていただきます。

調査は無記名で行い、回答内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、回答内容は本調査の目的以外に利用することはありません。

御多忙のところ恐れ入りますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】 大田区 地域未来創造部 地域力推進課 生涯学習担当
電話 03-5744-1443

*お問い合わせは、平日午前9時から午後5時まで
(正午から午後1時までを除く) 承ります。

回答方法は、以下の2つからお選びください。

■郵送で回答する場合

①調査票に回答内容をご記入ください。

②同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。切手は不要です。

令和7年10月●●日まで

■インターネットで回答する場合

スマートフォンなどで二次元コードを読みとるか、URLから回答フォームにアクセスし、以下のIDを入力の上、ご回答ください。

二次元
コード

回答期限 令和7年10月●●日

(ID)

(URL)

【回答にあたって】

アンケートは、封筒にある宛名の団体の代表の方が回答してください。なお、代表の方が記入できない場合は、代理の方などが代表の方のお考えを聞きながら、記入してください。

1 貴団体全般について

問1 貴団体について教えてください。

活動年数 (○は1つ)	1. 1年未満 2. 1～3年未満 3. 3～5年未満	4. 5～10年未満 5. 10～15年未満 6. 15～20年未満	7. 20～25年未満 8. 25年以上
会員数 (○は1つ)	1. 1～4人 2. 5～9人	3. 10～14人 4. 15～19人	5. 20～24人 6. 25～29人 7. 30～39人 8. 40～49人 9. 50～99人 10. 100人以上
会員の平均 年代(○は1つ)	1. 10歳代 2. 20歳代	3. 30歳代 4. 40歳代	5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳代以上
活動地域 (○は いくつでも)	1. 大森東 2. 大森西 3. 入新井 4. 馬込	5. 池上 6. 新井宿 7. 嶺町 8. 田園調布	9. 鵜の木 10. 久が原 11. 雪谷 12. 千束 13. 六郷 14. 矢口 15. 蒲田西 16. 蒲田東 17. 糎谷 18. 羽田
会報・広報誌の発行有無(○は1つ)	1. 発行している 2. 発行していない		
主な収入源 (○は1つ)	1. 会費 2. 寄附金 3. 事業収入 4. 国や自治体などの補助金・助成金 5. 国や自治体などの業務委託費 6. 社会福祉協議会や財団・民間企業などの助成金 7. 金融機関からの借入金 8. クラウドファンディング 9. その他()		

2 貴団体の活動内容について

問2 貴団体は、どのような目的のために活動されていますか。(○はいくつでも)

1. 楽しむことで人生を豊かにするため 2. 自由時間を有効に活用するため 3. 家庭・日常生活に役立てるため 4. 健康の維持、体力づくりのため 5. 交友関係を広げるため	6. 地域や学校、社会をより良くするため 7. 仕事に役立てるため 8. 学業に役立てるため 9. その他()
---	---

問3 貴団体の日常的な活動場所について、お答えください。(○はいくつでも)

1. 区立図書館 2. 区内の博物館・記念館 3. 文化センター 4. 区民センター・集会所 5. 青少年交流センター 6. 新蒲田一丁目複合施設(カムカム新蒲田) 7. 区内のスポーツ施設・公園	8. 区立小・中学校 9. 自治会・町会の会館、団体事務所、団体の会員宅 10. 区内の高校・大学・専門学校 11. 民間施設 12. 区外施設 13. その他()
--	--

問4 貴団体は、地域の他団体(他の社会教育関係団体、商店街、企業、学校など)と交流した経験がありますか。(○は1つ)

1. ある→問5へ	2. ない→問7へ
-----------	-----------

問5 問4で「1. ある」を選択した方におうかがいします。
どのような交流ですか。(○はいくつでも)

1. イベントなどを共同で実施する 2. 同じイベントに出店する 3. 講師になる・なってもら 4. 活動内容などを宣伝してもら	5. 団体運営や活動の課題について相談をする 6. 活動場所を借りる 7. 協賛・寄附してもら 8. その他()
---	--

問6 問4で「1. ある」を選択した方におうかがいします。

他団体と交流・連携したことで、どのようなよい効果を得られましたか。(○はいくつでも)

1. 新しい知識やスキルを習得できた 2. 活動のヒントや改善点を見出せた 3. 会員やイベントの参加者数が増加した 4. 活動の幅が広がった 5. 自分たちの活動を再認識することができた	6. モチベーションや活動意欲が向上した 7. 人的ネットワークが拡大した 8. 資源や設備の共有ができるようになった 9. その他()
--	--

問7 問4で「2. ない」を選択した方におうかがいします。

他団体と交流・連携したことがない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 交流・連携の必要性を感じていない	5. 過去に試みたがうまくいかなかった
2. 交流・連携する機会やきっかけがない	6. 自らの独自性・独立性を保ちたい
3. どのように進めてよいかわからない	7. その他
4. 交流・連携する人手が足りない	()

問8 新型コロナウイルス感染症を契機に、貴団体の活動にどのような変化がありましたか。(〇はいくつでも)

1. 活動頻度が増加した	7. 活動頻度が減少した
2. 参加者数が増加した	8. 参加者数が減少した
3. 新たな交流・連携が生まれた	9. 新規会員獲得が難しくなった
4. 新たな視点での活動や取組が生まれた	10. 活動場所の確保が困難になった
5. オンラインでの活動が増えた	11. 団体の活動資金が減少した
6. オンラインでの情報発信が増えた	12. 新型コロナウイルス感染症の影響による変化は特にな
	13. その他 ()

問9 今後、活動を継続していく際の問題点はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 会員が減少している	8. 活動場所が安定していない
2. 会員が高齢化している	9. 活動成果を発表する場がない
3. 新規会員が増えない	10. 他団体との交流の場が少ない
4. 後継者(役員のなり手)が不足している	11. 相談できる相手がいない
5. 事務負担が大きい	12. 問題点はない
6. 活動資金が不足している	13. その他
7. 活動内容をPRする手段が少ない	()

問10 貴団体では、新しい会員の獲得について、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

1. 積極的に増やしたい	2. 現状のままでよい
--------------	-------------

問11 今後、貴団体として行ってきたい地域活動について、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

1. 小・中学校での活動	5. 区主催の講座での講師
2. 高齢者や子どもの施設でのボランティア活動	6. 地域に向けた活動は考えていない
3. 活動している施設のイベントへの参加・協力	7. その他
4. 地域の住民に向けた講座やイベントの実施	()

3 大田区の生涯学習施策・事業について

問12 大田区の生涯学習に関する情報紙などについて、ご存じのものはありますか。(〇は各1つ)

情報誌名など、概要	知っていて、 閲覧した ことがある	知っているが、 閲覧した ことはない	知らない
<u>生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」</u> 講座・イベント情報などを集め、発信することで、みなさまの学習や活動のきっかけをつくるためのウェブサイトです。動画講座や社会教育関係団体の情報も掲載しています。	1	2	3
<u>生涯学習情報誌「おおたまなびの森」</u> 区内で行われている講座・講演・催し物などのほか、社会教育関係団体の活動内容も掲載しています。	1	2	3

問 13 大田区の団体向けの事業などについて、ご存じのものはありますか。(○は各1つ)

事業名、概要	知っていて、 参加した ことがある	知っているが、 参加した ことはない	知らない
<u>生涯学習相談会</u> 区内の様々な機関や団体が行う講座・イベント、活動などの情報 提供を行っています。また、学びや団体の運営に関する相談も受 付けています。	1	2	3
<u>区民プロデュース講座(旧：区民による区民のための連携講座)</u> 社会教育関係団体が講師になって、多様な学びの機会を提供する 講座です。	1	2	3
<u>大田区生涯学習ボランティア制度</u> 自身の知識・技術を地域に役立てたいと考える方のボランティア 登録を行います。	1	2	3

問 14 問 13 のいずれかで「2. 知っているが、参加したことはない」を選択した方におうかがいします。

どのような情報やきっかけがあれば、講座などへの参加につながりますか。(○はいくつでも)

1. 参加者の感想や体験談	6. はじめてでも参加しやすい雰囲気
2. 講座の内容や対象者のより詳細な説明	7. 仕事帰りに参加しやすい時間帯の設定
3. 学んだ成果の活用例	8. 子育て中の方向けの託児サービスの提供
4. 参加者同士の交流会	9. オンラインでの開催
5. SNS やメールでの講座情報の定期配信	10. その他 ()

問 15 大田区において、今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために、どのような取組みを重視した方がよいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 生涯学習・団体に関する情報を広く発信する
2. 社会の変化や区民の求めに応じた学習機会を提供する
3. オンライン講座など、自宅で学べる機会を充実する
4. 学習、活動に関する相談に応じ、学習機会や団体の紹介を適切に行う
5. 同じ興味・関心を持つ仲間づくりができる機会を提供する
6. 活動の場を提供する
7. 学んだことを発表できる場を提供する
8. 地域での学びの展開を支援する
9. その他 ()

問 16 社会教育関係団体が活動するための施設にはどのような機能・スペースがあるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 生涯学習に関する情報コーナー	8. 団体で使用する物品の保管スペース
2. 生涯学習に関する相談コーナー	9. 講座・イベントスペース
3. 自習用スペース	10. 発表スペース
4. 図書スペース	11. 学びや活動成果の展示スペース
5. 打合せスペース	12. 飲食が可能なスペース
6. 団体の活動用スペース	13. その他
7. 団体同士の交流スペース	()

問 17 社会教育関係団体が、生涯学習を進めていくためには、どのような情報が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 区が実施する講座・イベントなどの情報	4. 地域のサークル・団体などの活動に関する情報
2. 都や近隣自治体が発実施する講座・イベントな どの情報	5. 講師や指導者などの人材情報
3. 区内・近郊の大学・専門学校などが実施する 講座・講演会の情報	6. 施設に関する情報
	7. 団体の運営などの各種相談に関する情報
	8. その他 ()